

株式会社 報宣印刷 埼玉工場



生産プロセス

贈呈理由 高効率ヒートポンプの導入により、省エネ・省コストを実現



工場外観

株式会社報宣印刷は1972年の創業以来、コミュニケーションツールである印刷メディア全般を最新技術と設備をもって効率化・スピード化の高いパフォーマンスを実現してきた印刷会社である。

省エネ・省コストに優れたヒートポンプシステムを採用

埼玉県加須市の加須大利根工業団地内にある埼玉工場は、1989年に新設された以降に使用してきた吸収式冷温水発生機および排熱回収吸収式冷温水発生機の老朽化に加え、将来的な印刷機の稼働増加に対応できる冷水供給が可能である設備形成を踏まえリニューアルを決定した。リニューアルにあたっては、現状の冷水供給に関するデータを計測し、より実態にあった最適な能力選定を行い、CO₂排出量の削減による環境性改善やエネルギーコスト削減による

経済性を重視した結果、高効率ヒートポンプシステムを採用することを決めた。

省エネ・省コスト・省CO₂を同時に達成

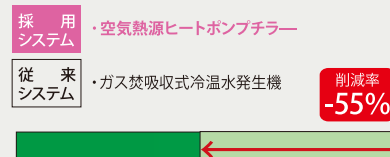
印刷工程におけるオフセット輪転機等の冷却水を従来の吸収式冷温水発生機から高効率ヒートポンプシステムに熱源転換することでモジュールタイプのシンプルな設備構成によりメンテナンスに関わる負担を軽減することができ、旧システムと比較したCO₂排出量では約57%の削減、エネルギーコストでは約58%の削減が可能となり、環境改善とコストダウンが期待できる。

株式会社報宣印刷では、今後も印刷技術だけではなく、さまざまな角度から課題やニーズに対して対応していくことが重要と考え、今後も環境改善や省エネを重視した設備形成を推進していく。



空気熱源ヒートポンプチラー

一次エネルギー消費量削減効果



【諸元】同一負荷条件による年間シミュレーション比較
一次エネルギー換算値
※1.電気(全日)9.76MJ/kWh※1.電気(昼間)9.97MJ/kWh
※1.電気(夜間)9.28MJ/kWh※2.都市ガス45MJ/Nm³
※1.「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」(平成28年3月1日改正)
※2.「エネルギーの使用の合理化に関する法律第15条及び第19条の2に基づく定期報告書記入要領別添資料4」

株式会社報宣印刷 埼玉工場

所在地:埼玉県加須市新利根1-8-2

■蓄熱設備概要
生産プロセス用冷熱供給システム
熱源機:空気熱源ヒートポンプチラー
700kW×1台(東芝キャリア)